

「農から見た日本」

講師 山下惣一

九州唐津から「農・食」を語りに駆けつけてくれました！

私たちは、なにを切り捨ててきたのか？ なぜ失ったのか？ 農業・農村から見ると、日本の真実の姿が見えてくる。農民作家として農業に重要な発言をしてきた山下さんが、日本の歩んできた道、日本の姿を明らかにする。

2月1日 水 午後 6:30
~ 8:00

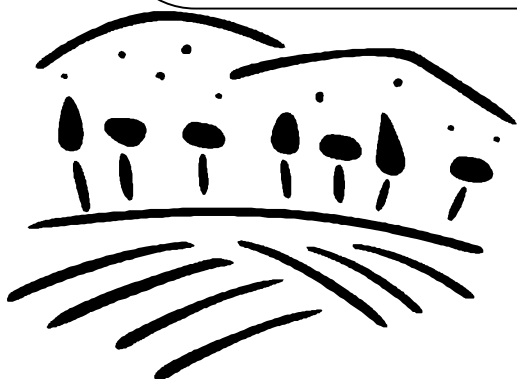
ユートピアくびき希望館

会費 1,000 円

(上越市頸城区百間町 716 TEL025 -530 -2360)

山下惣一(やました そういち)

昭和 11 年、佐賀県生まれ。農業・作家。
中学卒業後、家業の農業に従事。農業体験を小説やルポルタージュの形で発表し、同 45 年『海鳴り』で日本農民文学賞受賞。54 年『減反神社』で地上文学賞受賞、同作品は直木賞候補にもなる。生活者大学校教頭やアジア農民交流センター代表を務めながら、世界各地の農業の現状を視察し、各国農民と連帯、広い視野からつねに農民の視点で発言を続けている。主な著書に『野に誌す』『ひこばえの歌』『土と日本人』『たまねぎ畑で涙して』『この大いなる残飯よ！』『それでも農は命綱』『タイの田舎から日本が見える』『身土不二の探求』『農の時代がやってきた』『農政棄民』『産地直想』『農のモノサシ』『百姓が時代を創る』『農から見た日本』。



主催

山下惣一さんの話を聞く会

025 -547 -2210